

石巻復興支援ネットワーク
私たちの軌跡
活動報告書2018





代表あいさつ

特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク

代表理事 兼子 佳恵

2019年3月——東日本大震災発生から9年目になります。

復興再生期間の残りの2年でなにができるのか?

現状やニーズに必要な支援の在り方なのかを問い合わせながら活動に邁進してきました。

復興やまちづくりに関わり続けるには、地元の人であれ外から来た人であれ「覚悟」のようなものももって向きあわなければならないと感じています。

私自身にはその覚悟があるのか?

なにを知っているというのか?

なにができるのか?

そうやって自分に問い合わせながらこれまで活動してきました。

支援を頼るということは、一步間違えると「依存」になります。

私自身の覚悟ができるまでには、スタッフや多くの方々のお力添えがありました。

それでも5年の月日が流れました。

「依存」からの脱却。

ここからさらに「心の復興」の支援が重要視されていきます。

それぞれが失った多くのものを取り戻していく為には、「自らの力」が必要不可欠となります。

ひとりひとりにあった「エンパワーメントプラン」が求められるのです。

互いの立場や考え方の違いを受け入れ、共に「その人のできること」をみつけだす。

みつけた「種」を枯らさないように育っていく過程を見守る。

必要に応じて、一緒に水をあげたり、肥料を足したり、ひいたりしながら。

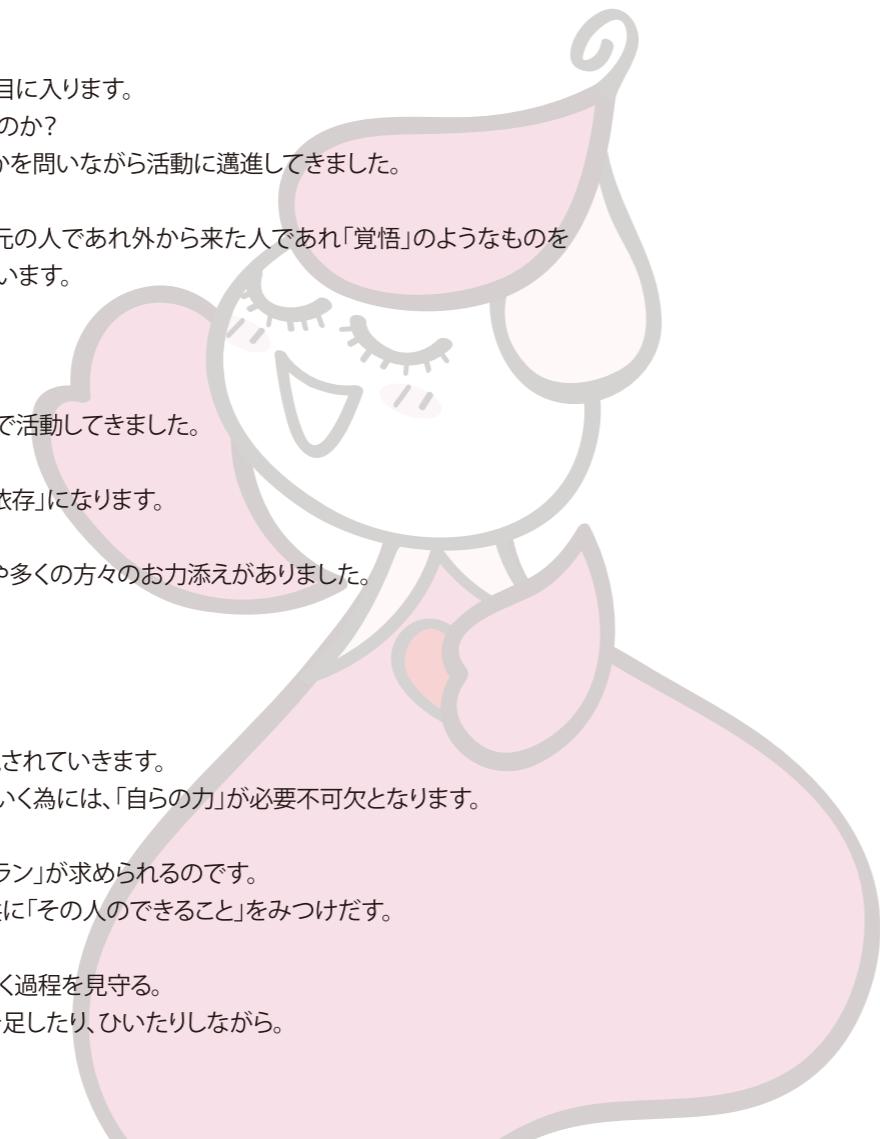
やっべすの目指す新しい未来。

「自分らしく生きられるが叶えられるまち」

思い描く地域社会の未来の住民は、自分たちではないかもしれない。けれども私たちが大好きなふるさと。その未来の住民のみなさんには笑顔のバトンを渡したい。

これまで、これから先もみなさんと共に新しい未来を創り続けていきたいと願っております。

これまで多大なご支援・ご協力を賜ったみなさまに深く御礼申し上げますとともに、引き続きご指導ご鞭撻いただけますよう心よりお願い申し上げます。



石巻の現状

1. 被害状況 (1)被害概要

地震概要 (気象庁発表)

- 発生日時 平成23年3月11日(金) 14時46分
- 震央地名 杜氏半島の東南東約130kmの三陸沖
(北緯38度06.2分/東経142度51.6分)
- 深さ 24km ○規模 M9.0 ○震度 高度6強(石巻市)

津波概要

- 津波の高さ 最大高さ T.P (東京湾平均海面) +8.6m (鶴川: 気象庁発表)
津波波峰による最大高さ
- 浸水面積 73km² (H23.4.18 国土地理院発表)
- 市内の13.2% (平野部の約30%) が浸水
<参考> 震災6周年62町村の浸水面積合計 661km²
(石巻市の浸水面積は全国の浸水面積のおよそ12%を占める)



石巻市の被害の状況

○人的被害 死者数 3,184人 [15,895人] 行方不明者 417人 [2,539人]

○建物被害 全壊 20,043棟 [121,776棟] 半壊 13,049棟 [280,923棟]

二軒損壊 23,815棟 [728,574棟] 合計 56,707棟 [1,129,273棟]

○地盤沈下 最大沈降 -120cm(仙南地区付近)

※参考資料: 地盤沈下状況...P4参照

▲石巻市より津波引退時の庄北上川中流域の写真

▲石巻市より津波引退時の庄北上川中流域の写真
259箇所 未避難者は平成23年1月11日、避難所は震災12月11日をもってすべて閉鎖 (平成23年3月11日10:00時点)

避難状況

○最大避難者数 5,758人(H23年3月17日時点)

○最大避難所数 259箇所

東日本大震災の発災から8年以上が経過しました。震源地から最も近い最大被災地、石巻市では、2019年5月末日時点で死者3,552名(関連死を含む)、行方不明者420名の人的被害を記録しています(石巻市公式ホームページより)。改めて、亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

東日本大震災が発生する以前、2011年2月時点で162,822人居た石巻市の人口は、143,479人に減っています(2019年5月末日現在)。宮城県の復興計画(10年)の再生期終了後、2018年度より発展期がスタートしました。インフラや建物は9割方復興していますが、止まらない人口減少の中、工事は進んでも人は戻らない状況です。

一方で石巻市は高齢化も深刻な問題となっています。市全域の高齢化率は震災以前より毎年約1%の割合で進行し続け、現在32.44%。うち雄勝地区では55.79%(平成31年3月31日現在)という状況です。元々少子高齢化、過疎化が進行していた上に震災により経済的に困窮し仮設住宅や公営住宅へ住まるを得ない人口が急上昇しました。

復興住宅では孤立死が増加しています。2017年度は、復興住宅での孤立死がプレハブ仮設での孤立死を上回りました。昨今では公営住宅の家賃滞納問題を取り沙汰されています。

こうした現状はほんの一部であり、他にも女性の社会参画における問題、子育てにおける問題、など多様な社会的ニーズが浮き彫りになっています。

何もかもが破壊された被災地は他地域に比べ20年先を往く社会課題先進地域であると言われています。複雑に絡み合う社会課題に対しては、持続可能且つ永続発展的な取り組みが必要とされます。やっべすは、SDGsの「4 質の高い教育をみんなに」「5 ジェンダー平等を実現しよう」「8 働きがいも経済成長も」「11 住み続けられるまちづくりを」「16 平和と公正をすべての人に」「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の6つに貢献する持続可能な仕組みづくりに、東北地方の中でも先行して取り組んでいます。

特定非営利活動法人

石巻復興支援ネットワーク



*通称「やっべす」と、特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワークは、子育てに悩んだ経験から、ママ同士が思いを共有し、気軽に相談できる場所が必要だと感じ、2009年に代表理事の兼子がお母さん仲間とともに立ち上げた「環境と子どもを考える会」と、震災後に支援に入った「つなプロ(被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト)」と共に立ち上げ、法人化した団体です。



「やっべす」とは、石巻の方言で、一緒にやりましょうという意味です。

被災した私たちだからできること。がんばってではなく、一緒にやりましょう。

同じ目標で、復興するまで寄り添い続けること。そんな思いを込めて、震災のあった2011年の5月、「やっべす」の活動は始まりました。

「やっべす」は、市民ひとりひとりが支え合い、みんなで課題を乗り越えていく社会基盤をつくるため、企業やNPO、行政等と協働し、女性や子どもを始めとする多様な担い手に学びや活躍する機会の提供と支援が必要な方へのサポートを行っています。

平成30年度経産省主催 「女性起業家支援コンテスト2018」 個別支援部門優秀賞を受賞



<経産省「女性起業家支援コンテスト2018」概要>

多様で柔軟な働き方を実施する上で、特にライフイベントとの両立が課題である女性の就労促進には「起業」が一つの有効手段です。しかし、育児等の理由によりビジネスから一定期間離れていたなどの女性固有の起業課題は、起業を決意・準備し始める前の段階に多く存在します。

そのため、経済産業省では、平成28年度から、女性の起業を支援するために、地域の金融機関や産業・創業支援機関、女性キャリア相談等を行う民間事業者・NPO等を中心とした「女性起業家等支援ネットワーク」を全国10か所に形成しています。

各ネットワークの中で生まれた女性起業支援モデルの創出・他地域への横展開を目的に、「女性起業家等支援ネットワーク」に属する女性起業家支援を行う企業やNPO法人等の支援機関が行った女性起業支援のうち優良事例を表彰する「女性起業家支援コンテスト」を開催しました。

2018年度（第8期）事業について

第8期は、やっべすとしての活動をさらに推進するために、2018年10月より活動拠点を石巻市開北三丁目に移しました。1階には50名以上収容可能な大ホールやシステムキッチン、インキュベーションオフィスとして2社の入居スペース他を完備しました。現在、当団体は管理部門を除き、13の事業を実施しています。事業は4本の柱で構成しています。一つ目の柱である「女性の活躍推進」では、第6期Eyes for Future byランコムを開講、12名の女性が起業家育成コースを修了しました。また、過去の受講生が自身の希望する科目を選択受講できるフォローアップコース(履修生)には4名が参加しました。また、本スクールにおける学びの中で、具体的な創業に至るために起業家支援事業を受け、実際のマーケティングの場としてサン・ファン石恋まつりに出店等した受講生1名に対する支援体制が、経済産業省主催「女性起業家支援コンテスト」にて東北初の個別部門優秀賞を受賞しました。これまでに135名の卒業生を輩出したEyes for Future by ランコムは第6期で終了し、第9期より、これまでの卒業生らの活躍を後押しする活動へとシフトします。

当年度は、宮城県からの補助金により、新たに「育児中の母親と地域社会の絆をつなぐインターンシップ事業」を実施しました。「女性のちから」でまちを活性化させることを目的に、スクール「きらり」を開講。5名の受講者が11回の講座と地元NPOにおけるインターンシップを通じ、受講者自らの問題意識を深め、自分ごととなった社会課題に対するアクションまでを行いました。

二つ目の柱「被災者のコミュニティ形成支援」では、「心の復興事業」として、年間33回のサロン活動・イベントを仮設住宅や復興公営住宅の集会所にて開催。のべ555名の参加があり、閉じこもりがちな、仮設住宅や復興公営住宅での暮らしの中での外出の機会をつくり、住民の孤立化を防ぎ、既に復興公営住宅でも起こっている孤立死の防止に繋げることができました。

三つ目の柱である「復興の担い手育成」では、「石巻に恋しちゃった」や「コワーキングスペース運営」を継続事業として実施。また、新拠点を活かし「チャレンジショップ事業」なども展開しました。「石恋」は、みやぎ地域

復興支援助成金の支援の下、石恋運営委員会が主体となり、チャレンジしやすい土壤づくりの一助として新達人のみを集めた「石恋♡初恋編」を年2回開催し、20名の新しい達人を発掘。参加者は165名にのぼりました。毎年海の日の恒例である「サン・ファン石恋まつり」を今年も実施。参加者は2,000名を超える、市民に愛されるイベントとなりつつあります。第9期は「サン・ファン石恋まつり」もやっべすの手を離れ、市民有志による実行委員会を発足。自立した継続展開につなげます。

コワーキングスペースでは、石巻市委託のもと、市の創業支援事業計画に位置付けされた「特定創業支援事業」として、創業経営のための基本セミナーを2回(参加者計17名)実施。4名が特定創業支援事業を受講したことの証明書を取得しました。また、計4回の起業家交流促進事業(参加者計38名)と、「ローカルマーケティングセミナー」と題したオリジナルセミナーを開催。起業家たちの交流やステップアップを支援しました。その他、年間93件の経営相談依頼に対応、地元起業者・経営者たちの事業計画策定や補助金申請等についてサポートを行いました。

今年度から新たに始めた「チャレンジショップ事業」は宮城県の補助を受け、スタートしました。2018年10月より開始し、会員制で販促活動の機会と場所を提供する内容に加え、「広報」「会計」「接客」におけるセミナーを実施し、20名に学びを提供。合計7事業者のビジネスチャレンジをサポートしました。

四つ目の柱である「震災の教訓を伝える」では、復興コーディネート事業とグッズ販売事業を実施。復興コーディネート事業では、今年度も、約1000名の社会人・学生らのボランティア活動や視察を受け入れました。またグッズ販売では、無事かえるシリーズの第6弾、キッズリュックの監修・販売に協力しました。第6弾では、「やっべすカラー」を特別に制作いただき、数量限定で販売しました。

なお、今年も3月9日に東京にて活動報告会を実施し、都内近郊38名のステークホルダーに対して1年の活動報告を実施し、今後の事業展開につなげました。



2018年事業カレンダー



4月8日 石巻に笑顔を運ぶ!Eyes for Future by ランコム 重太みゆきさん特別講演開催!

7月15日 「子育ても仕事も両立したい!」ママが抱える再就職の悩み座談会開催!

8月2日 最終の復興住宅完成に伴い仮設お別れ会を開催。ゲストに安倍首相をお迎えしました!

9月4日 Coworking!@Ishinomakiにて「起業家交流サロン」を開催

9月13日 働きたいママのための合同会社説明会開催しました!



10月13日 Eyes for Future by ランコム ~石巻で翔く、輝ける女性へ!~ 女性起業家支援コース修了式を開催

10月20日 Coworking!@Ishinomakiにて「第13回創業・経営基本セミナー」がスタート

10月29日 「やっペす新拠点お披露目会」を開催

10月30日 女性の社会参画推進を目的に「脱!ワンオペ家事育児～新しい夫婦の形を目指して」講演会を開催

11月5日 「自国での防災の取り組みに」国連ユニタール 津波防災研修にご協力!



11月24日 平成30年度クレイアート指導者養成講習会開催

11月29日 第1回「石巻地域こども食堂会議」を開催

12月8日 Coworking!@Ishinomakiにて「第5回オリジナルセミナー」を開催



12月13日 やっペす遠足「世界遺産中尊寺へお参りやっペす」開催!

12月17日 福島県大熊町「石恋視察団」の皆さんを受け入れました

1月24日 役割が人を育てる!「教えて池上先生!女性活躍推進法で何が変わるの?」セミナー開催!



1月26日 「つくってみよう!誰にでもできる!人を動かすプレゼン講座」開催

2月14日 やっペす!女性のためのプログラム“きらり”活動報告会開催

3月8日 やっペす!活動報告会in東京開催

3月11日 震災があったからこそ出会えたご縁に感謝!やっペす感謝祭♡開催

3月19日 「大橋仮設お別れ会」を開催

3月23日 MDRTプルデンシャル会のボランティア受け入れを実施

石巻復興支援ネットワーク 私たちの軌跡 活動報告書2018



代表あいさつ	p01
石巻の現状	p02
やっぺすとは	p03
2018年度事業について	p04
2018年度事業カレンダー	p05
女性が輝く。石巻が輝く。 Eyes for Future by ランコム	p08
ママたちが羽ばたくコミュニティースペース コミュニティースペース butterfly	p09
地域課題を発見し解決する女性の事業家を生み出す やっぺす☆きらり	p10
すべての女性の"はたらく"を実現する 子育て女性就労支援拠点育成事業	p11
石巻から全国の女性たちへ紡ぎ出すものがたり Amanecer	p12
外で働けないママたちのために おうちしごと	p13
全ての人に出番と居場所をつくる 石巻に恋しちゃった♡	p14
地域において、不斷に新たな事業を生み出していく環境づくり 地域起業・新事業活動拠点支援事業	p15
Coworking! @ Ishinomaki	
全ての人に「チャレンジする機会」を提供する やっぺす！チャレンジショップ	p16
復興の新たなフェーズに伴う仮設・復興公営住宅コミュニティ支援 やっぺす隊がやってくる！	p17
外部と被災地との支援ニーズをマッチング 石巻復興コーディネート事業	p18
石巻から「防災」を届ける グッズ販売事業	p19
会計報告	p20
支援企業一覧	p21
ご支援のお願い	p22

女性が輝く。石巻が輝く。 Eyes for Future by ランコム



事業概要

「Eyes for Future by ランコム」は、女性の自立と社会参画を支援し、より魅力的な地域づくりを推進するため、日本ロレアル株式会社の化粧品ブランド「ランコム」、石巻復興支援ネットワーク、石巻市が協働で実施する人材育成スクールです。2013年の開校以来、毎年開催され、起業や事業の拡大をめざす志ある女性たちを応援してきました。これまでの受講生の延べ人数は、152名に及びます。その多くがショップや教室の立ち上げという夢を叶え、働く世界を広げ、またまちづくりの力強い担い手として活躍するなど大きな成果を挙げています。6年目を迎える今期スクールでは、12名の受講生と4名の履修生を迎え、人気の高いメイクとコミュニケーション講座のほか、ホームページ制作、パワーポイントでのプレゼン資料づくりなどのパソコン講座、さらには起業家思考術、販路開拓、財務講座など、より実務に重きを置く充実した内容を実施しました。6年間続いた「Eyes for Future by ランコム」は、今期で大きな区切りをつけることとなり惜しまれながらも幕をとじました。



ランコムスタッフによるメイク講座では、第一印象を変えるメイクの仕方を伝授。更に自信に満ち溢れました。



ビジネス講座では、ビジネスプランの作り方について学びました。

開講式終了後にはジャーナリスト池上彰氏による「学び続ける力」を開催。勉強すること学び続けることの大切さをお話しいただきました。



今期の成果

- ・新規生12名、履修生4名が修了。
- ・第6期募集について、25名が応募、16名が受講をスタートした。
- ・修了課題での「ビジネスプラン」のプレゼンテーションでは、自身のビジネスプランを構造化し、更にプラスアップしたビジネスプランを発表しました。
- ・修了式の後は第1期～6期の受講生と、当事業に携わっていただいたすべての方々をお呼びして「女性起業家体験ブース・懇親会」を開催しました。

今期の主要アウトカム

- ・アンケート結果より：プログラム全体で98%の受講生が「満足/ほぼ満足」と回答し、講座内容を「良く理解できた/理解できた」と回答した方も100%上回った。
- ・受講した6名の方が事業拡大に取り組んだ（飲食分野1名、癒し・健康・ファッション分野3名、まちづくり分野1名、ものづくり分野1名）。
- ・起業したい女性に、応援者が伴走して一緒に夢を叶える女性起業家支援コンテスト、「ジョキコン」において、受講生である阿部愛純さんの事業が個別支援部門優秀賞受賞。
- ・スクールについて、石巻かほく新聞など多数の新聞、雑誌等で紹介された。



事業概要

「コミュニティースペースバタフライ」は、石巻地域の少子化や貧困の問題のリスクが高まっている中、仮設住宅から復興住宅への移転のより、地域のコミュニティ形成が課題となっています。子育て中の母親の孤立を防ぎ、育児ストレスの解消を目指し、親子がゆっくりと温かい食事を取れるような居場所を提供し、また、母親のコミュニティ作りの場を提供することにより、子育てしやすい地域、環境の改善につなげています。



今期の成果

- ・イベント実施回数:65回、参加のべ人数:634人
- ・子育て相談会回数:10回、参加のべ人数親子39組
- ・やっべすママ子ども食堂回数:17回。参加のべ人数:親子83組

今期の主要アウトカム

- ・こそだて相談会を開催することにより、地域の母親たちの孤立解消や子育てで抱えるストレス軽減につながった。
- ・親子向けのイベントや子育て相談を実施し、親子の居場所、コミュニティづくりができた。
- ・地域の方より食材を提供いただき、地産の新鮮な野菜を提供できた子どもの食育健康につながった。
- ・遊びがすくない地域現状において、新拠点に移動し親子で安心してのびのび遊べる環境ができた。
- ・石巻地域子ども食堂会議を開催し、地域団体との交流連携が図れた。
- ・ノーバディーズ・パーカクト講座において、今年度まで石巻市中央公民館、石巻市役所生涯学習課と共に開催していたが、次年度から市の事業として実施することとなった。



事業概要

女性の自立と社会参画を推し進め、復興まちづくりに「女性のチカラ」を活かし、石巻をより魅力的な町にすることを目指し、NPO等での活動体験から地域にある課題を解決するための企画を考え発表する体験型の連続プログラム「きらり」を企画・実施しました。本プログラムを5名が修了。全11回講座中、くらしの中の困りごとから地域課題を集めそれらを解決する方法を考え調査し、NPO等での活動体験をして解決のためのアイデアを磨き、受講生それぞれにおいて実践するまでに至りました。



今期の成果

- ・参加受講生:目標20名に対して10名が受講し、5名が修了。
- ・インターンシップで受講生を受入するNPOや社会的企業:7団体に対して5団体
- ・インターンシップ活動報告会への参加者:50名に対して17名
- ・インターンシップ先への就業:5名に対して1名
- ・事業報告書の作成:200冊に対して200冊

地域にある課題を身近な切り口から拾いあげ改善のための方法を考えることで、地域課題を「自分ごと」として考え改善するために自分にできることでアイデアを出し実践することができた。これらの体験をとおし自信の回復につながることでその後の社会復帰に対して積極的に取り組む意欲の向上が見受けられた。

また、子育て中の母親たちが、同様の環境にある母親とともに学ぶことで、悩みを気軽に相談したり、励まし合ったりする仲間ができたことも大きな成果のひとつである。



今期の主要アウトカム

女性の力が十分に発揮される地域づくりに至ることは、一朝一夕にはいかないが、小さなステップを積み重ね経験することで、受講者それぞれの自信回復、自己肯定感の向上につながったと考えている。様々な状況に置かれた女性が、地域にある課題の改善へ向けて主体的に取り組み、第一歩となる行動へと移すことができた。活動の中で吸い上げた地域にあるニーズを提言してまとめ行政へ届けるという成功体験することで地域の一員として再認識し、被災地の復興まちづくりと地域社会の活性化への一助になったと考えている。受講生たちには、近い将来、女性が活躍する地域づくりの一翼を担て欲しいと切に願っている。

・本事業において地域の課題とそれに向き合う活動に直接触れることができた経験から、社

会貢献の意欲が高まり、NPOへの就職を希望する受講生が居た。その女性はこの6月からNPOへの就職することができた(1名)。

・母親たち(20名程度)が育児および休職中の期間にスキルアップを図ることができ、社会との接点を得られ、自分や子どもが暮らす地域社会のことを深く知り、学ぶ機会となつた。

・インターンシップの受入を通じて、地域課題に取り組むNPOの活動に、地域の女性・母親の視点を取り入れるきっかけができた。

・インターンシップやその後の雇用の実現により、被災地でまちづくりを行うNPOの人手不足解消につながった。

・地域で女性が活動できる場をつくることで、女性活躍を推進する地域づくりの実現に繋がった。



すべての女性の"はたらく"を実現する 子育て女性就労支援拠点育成事業

就労支援セミナー
自分のこれまでの経験を整理しできる事に目を向きました

事業概要

本事業は、家庭の女性が子育てしながらでも働いたり、自己実現を図ることで多様性のある地域社会づくりや子育てしやすい地域の実現を目指し、宮城県子育て女性就職支援補助金を受けて実施する事業です。
①自立を促進し、勤労意欲を高める。②自分に合う仕事について考える。③実際に仕事を探す。④仕事を長く続ける。の4つの段階で包括的な支援を行いました。
①については、ワーキングバランスなどライフプランニングに関するセミナー。②については、適職診断を目的とした自己分析に関するワークショップ。③については、就労に意欲的な子育て中の母親と、彼女達の雇用に前向きな企業とのマッチング説明会と合わせて、就職活動にすぐ役立つマナーや履歴書作成などビジネススキルに関するセミナーを実施しました。
また、1年目同様に、当地域に根深く存在する、性別役割意識からくる偏見や子育て女性の現状や課題について考えるきっかけを提供するイベントも上記に合わせて実施しました。
そして、子育て中の女性が働く上でもっとも大きな障害のひとつとなっている、就労中、就職活動中の保育・託児場所の不足については、地域のファミリーサポート事業等と連携し、子どもの一時預かりができる場所の提供や託児・保育ボランティア(有償)の仕組みの充実を図り、女性の就職および地域社会での活躍を促進します。

今期の成果

- (1) 女性の社会参画促進事業
 - ①個別相談利用者のべ50件(13人、匿名18件)
 - ②性別役割偏見解消イベント 20名
- (2) 就職支援事業
 - ①池上彰氏に学ぶ「女性活躍推進法」で何が変わる?特別セミナー 60名
 - ②合同就職説明会(相談会) 42名
 - ③子育て中の女性が悩みや思いを共有する座談会 34名
 - ④就労支援セミナー
 - ・働きたいママの悩み解決!ママが働くことで変わること 23名
 - ・働きたいママのため適職診断&自己分析 10名
 - ・働きたいママのためのコミュニケーション講座 24名
 - (3) 支援人材の育成・ネットワーク構築事業
 - ①事業に関連する研修への参加 子育て支援員研修など
 - ②地域の女性や企業を対象とした意識調査(アンケート)の集計および分析

今期の主要アウトカム

- ・個別相談を受けることで、当地域の女性たちの就労を阻む要因について、その傾向を知ることができた。また、それら課題に対して解決策を提案することができた。
- ・当事業内で開催した企業向けセミナーでは、参加企業周知に苦戦し中止の判断をした。セミナー内容や周知の方法、外部との協力体制の強化など新たな課題が見えた。
- ・就労支援セミナーを開催したことで、働きたいと考える女性の意欲向上につながったとともに、現在の働き方を変えたいと悩んでいた女性の後押しもできました。
- ・各セミナーで作ったアンケートから、就労に向けてどのような情報や機会を必要としているのかニーズを把握することにつながった。
- 支援者数:個別相談利用者のべ50名のところ、実績50名
- 参加者数:家族のイベント目標20名のところ、実績20名。
- 就職説明会参加者数:50名、企業10社のところ、実績25名、企業7社
- 座談会兼セミナー参加人数:のべ60名のところ、91名
- 情報発信件数:40回のところ、38回
- 当事業に関連する研修への参加:随時
- 託児利用者数:のべ40名のところ、18名
- 当団体ウェブサイト上のアンケート結果の公表
- 就職者数:目標5名のところ、実績5名



ザ・ボディーショップによるメイクアップ講座

石巻から全国の女性たちへ 紡ぎ出すものがたり Amanecer



モデル撮影の合間のひとコマ。お子さんにも協力してもらいました。



2018年新作の「El sol ~太陽~」ネックレス

事業概要

震災から8年が経過し、市民らは生活再建を成し新たな一步を踏み出しています。一方で、貧困や環境の変化から、小さい子どもを持つ母親らはネグレクト、幼児虐待、育児ノイローゼ等に陥る危険性は変わらず懸念されています。この根深い社会問題の解決の為に、小さい子どもが居ながらにして収入を得る機会や閉じこもった生活から一歩外へ出られるような場を提供することが必要だと考え、当事業を2012年3月より継続実施しています。「Amanecer」とはスペイン語で夜明けを意味します。震災を経験した上で次の命を育み続けた力強くあたたかな母親たちだからこそ製作できる、石巻発信のアクセサリーブランドとして自団体で運営し、より一層の効率化を図る為、運営サイトの変更、アクセサリーデザインを自分たちで行っております。



ブルートパーズとペリドットの天然石をワンポイントチャームに。

今期の成果

- ・経常売上利益:¥233,634(2019年3月まで)
- ・制作者雇用数:2名
- ・Love&sense阪急うめだ本店東北ウィークにて委託販売
- ・「El sol ~太陽~」シリーズ販売

今期の主要アウトカム

- ・支払い内職賃 ¥23,200
- ・地元のママモデルを起用し、イメージアップにつながった。



事業概要

小さな子どもが居る母親は自分のペースで働ける場所がなく、外にもなかなか出られないのが現状です。彼女たちのどんどん閉じこもっていく状況を改善し、また生活再建のための収入を得る機会を作るために当事業をスタートしました。当事業は復興支援を希望する東京、大阪などの企業と共に、子育て中の女性向けの手仕事を中心とした内職を提供しています。2018年度は(株)イストワール、ザ・ボディショップ、(一社)rennsa(アズボヌール)、ソンリサから前年度より引き続き委託を受け、手仕事を通して社会と関わるきっかけも提供しています。



ソンリサの赤ちゃんとのお出かけにぴったりな歯固めにもなる「シリコンビーズネックレス」も制作しています。

今期の成果

- ・(株)イストワール
アクセサリー製品検品、台紙、値札つけ 101,917個
アクセサリーチャーム、パーツつけ 1,122個
- ・ザ・ボディショップ
2019サクラチャリティブラシポーチ制作 4,600個
- ・(一社)rennsa アズボヌールレザーアクセサリー
リング 77個
バンダナ 14個
ピアス 63個
ブレスレット89個
- ・ソンリサ アクセサリー制作
コットンパールコードネックレス 30個
歯がためティーザー 122個
シリコンネックレス 253個

今期の主要アウトカム

- ・延べ41名へ内職を依頼
- ・支払い内職賃 ￥1,841,350(2018年5月～2019年4月まで)



事業概要

2013年よりスタートした「石巻に恋しちゃった♡」(通称:石恋)は、石巻・女川・東松島で趣味や特技をもつ地元市民を発掘し、「石恋達人」として講師になっていただき物作り講座やフィールドワークなどの体験プログラムを行う「まちづくりプロジェクト」です。2018年度は石恋運営委員会が主体となり、チャレンジしやすい土壤づくりの一助として新達人のみを集めた「石恋♡初恋編」を年2回開催し、20名の新しい達人を発掘しました。また、講師として活躍している達人たちと、講師を探す人達とのマッチングの場として「石恋達人見本市」を開催するなど、達人たちの活躍の後押しをし、市民が主体的に関わる復興まちづくりに繋げてきました。これらの活動を通し、地域内外で活躍の幅を広げたり、次のステップに踏み出すための学びを深めたりと、前向きに進んでいる達人が増えています。達人同士の繋がりも増え、サークル活動が始まり、新しいイベントが立ち上げられたりで、地域コミュニティの活性化にも繋がりました。



今期の成果

- ・《サン・ファン石恋まつり》 7/16
出展・ステージ発表:42件(うち学生による出展・ステージ発表4件)
協力企業:10社・来場者数:2000名強
- ・《石恋初恋編》 9/15~20・1/26~31
新達人発掘数:20名 参加募集人数:197名・参加人数:165名
- ・《プレゼン講座》 11/13 受講者:13名
- ・《石恋達人見本市》 11/30~12/1 参加達人数:20名・来場者数:21名(19組)
(行政関係:5名・学校関係:2名・民間団体:8名・企業:1社2名・個人:3名)
- ・《石恋特別公開講座「ヒット商品を生み出す思考力・発想力の磨き方」》 2/23
受講者:29名 (3名がマーケティングのオンラインスクール受講開始)
- ・《SNS等での発信》 通年
・地元新聞に毎月1回定期的に達人紹介記事を掲載(年間12回)
・達人の活動の様子をホームページやfacebookページにて紹介
・講師を探している企業や団体などと達人を繋げる(25名)

今期の主要アウトカム

- ・《サン・ファン石恋まつり》 出展者アンケートより
・出店者同士のつながりや、新規お客様が増えた。■・店舗づくりの勉強になった。資格取得後の経験になった。
- ・《石恋初恋編》達人アンケートより
・講師依頼や、問い合わせが増えた。新規の顧客が増えた。
- ・新たなプログラムを考えたり、イベント出店や講師として活動する場を探し始めた。
・《プレゼン講座》《石恋達人見本市》《SNS等での発信》
・プレゼン講座、達人見本市がきっかけで、その後プレゼンをする機会を得た。(4名)
・事務局や達人個人に、講師、ワークショップの開催依頼や問い合わせが増えてきている。
・講師依頼をきっかけに、公営住宅でボランティアのパソコン教室を開催する方向で動き始めている。

地域において、不断に新たな事業を 生み出していく環境づくり 地域起業・新事業活動拠点支援事業 Coworking! @ Ishinomaki



12月19日開催の起業家ミートアップイベントのようす

事業概要

本コワーキングスペース事業は2014年7月7日にオープンし、震災後起業された皆さんや、これから創業する人たちが集うことで、互いに学び合い、高め合い、そこから魅力的な仕事づくりにつながるコラボレーションがたくさん生まれる場づくりを目指しています。

本スペースでは現在、創業経営の為の基本セミナーの開催や経営に関する相談対応業務、地域において起業意欲の醸成と起業者間ネットワークの形成を図る起業家の交流企画などを定期的に実施し、石巻市の産業発展基盤に従事しています。また、石巻市の起業家・経営者らがどのような学びを求めているのかに焦点を当て、web制作や地方では中々得られない学びを提供するオリジナルセミナーも実施しています。

今年度は石巻市からの委託事業にて実施し、2019年3月31日をもって営業を終了。2018年10月に整備・オープンしたやっぺインキュベーションオフィスにすべての機能を移管しました。



9月4日開催の第4回起業家交流サロンのようす

今期の成果

- ・経営相談対応件数述べ93件
- ・起業家交流促進事業の開催4回
- ・創業経営のための基本セミナー開催2回
- ・創業経営のための基本セミナー参加者数述べ17名
- ・特創証明書発行可能支援者数述べ13名(うち実発行件数4件)
- ・交流事業参加者述べ38名
- ・オリジナルセミナー開催1回
- ・オリジナルセミナー参加者8名



第12回経営基本セミナーのようす

今期の主要アウトカム

本事業の経営相談やセミナーなどによる、新規創業支援件数述べ4件

全ての人に「チャレンジする機会」を提供する
やっぺす!チャレンジショップ

会員が自らのビジネスでイベントを主催!

事業概要

やっぺすチャレンジショップは、市民のチャレンジを推進・支援し続けるハブとして2018年10月にオープンしました。特色は、単に商売をする場を提供することせず、会員制として、チャレンジショップ会員として販促活動実施を推進することにあります。そこへインキュベーションマネージャーによる経営伴走支援や、セミナー実施を行っています。また、本チャレンジショップでチャレンジしたフィードバックとして得られた課題に対して、当団体が他に実施しているイベントへの出店や起業家支援へ誘導し、共に解決・発展していくモデルとなっています。

今期はチャレンジショップ整備のほか、「広報」「会計」「接客」の3分野におけるセミナーを実施しました。



2月9日実施の接客セミナーのようす

今期の成果

- ・利用事業者数7事業者
- ・<セミナー実施>
- 広報(PR)セミナー
日時:2018年 12/7(金)10:00~12:00
講師:高畠哲平氏
(株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ代表取締役副社長)
参加人数:7名
- 会計セミナー
日時:2019年 1/18(金)10:00~12:00
講師:日野一義氏(日野税理士事務所代表)
参加人数:7名
- 接客セミナー
日時:2019年 2/9(土)10:00~12:00
講師:(株)イストワール
(代表取締役社長 加藤氏、デザイナー、店舗スタッフ)
参加人数:6名



12月7日実施の広報セミナーのようす

今期の主要アウトカム

事業者らは女性同士かつ顧客層(子育て中の女性など)が近く、そのため、販売スペースやローンスペースとして当施設を利用するだけでなく、互いに相談し合う様子も見せており、人材の紹介から雇用に繋がったケースも生まれている。また、チャレンジショップへの出展を足掛かりに、新商品の開発コンテストに応募する人も現れている。

復興の新たなフェーズに伴う 仮設・復興公営住宅コミュニティ支援 やっべきす隊がやってくる!



8月2日復興庁視察集合写真

事業概要

石巻市開成・南境地区の仮設住宅団地集会所及び復興公営住宅集会所にて、コミュニティ形成と住民の生きがい創出の為に月6-7回程度サロン活動を行いました。復興公営住宅では住民の方が自主的にサロン活動やイベントを開催出来るように石巻社協や他のNPO団体と連携しあ手伝いしたり、復興公営住宅にお引越しされて来た住民の方が地域に早く馴染んでもらえるようにと地域住民の方と復興公営住宅の住民の方の交流の機会になるようなイベントも開催しました。また、外部からの支援ニーズと住民ニーズをマッチングしたイベントの企画や運営、開催も行いました。

やっべきす遠足バス旅行での皆さんの笑顔
「いってきま～す」

石田裕之さんライブは仮設の皆さんの同窓会です。

今期の成果

- ・バス遠足2回実施
- ・復興支援イベント33回実施参加人数延べ人数 555名
- ・受益者から講師になった方 6名

今期の主要アウトカム

- ・アンケート結果より
 - 生きがいのある生活が送れるようになった81%
 - 心身の健康改善につながった81%
 - 他人との交流が増えた86%
 - 孤立・寂しさ・不安が軽減された89%



外部と被災地との支援ニーズをマッチング 石巻復興コーディネート事業

復興住宅でも清掃ボランティア活動を実施。エアコンや換気扇など高いところの掃除は、住民のみなさんに喜ばれています。

事業概要

現地のニーズと組み合わせながら、企業・大学・各団体の支援活動や社員研修、視察、スタディツアーコーディネートを行っています。震災から5年以上が経過し、被災地のニーズは多岐に渡っています。課題は多様化し、見えにくくなっていますが、仮設住宅に残された方々への支援や復興住宅でのコミュニティ形成、人口が減った地域での生業支援等、まだ支援を必要としている方々がいます。そういうニーズを、市外・県外の方々の「人・物・資金・情報」で繋ぎ、支えるとともに、震災の風化を防ぎ、参加者の防災・減災意識を高める効果も期待しています。

今期の成果

- 復興支援活動&視察の実績
- ・積水ハウス(株)(4月～6月)(383名)
 - ・大日本印刷(株)((7月28,29日)17名、(11月16,17日)15名)
 - ・三越伊勢丹グループ労働組合(5月～6月)(51名)、(10月～11月)(37名)
 - ・MDRT日本会(9月8日)(140名)
 - ・MDRTブルデンシャル会(3月23日)(123名)
 - ・NTN(株)(9月5-7日)30名
 - ・富士通エフサス(6月～9月)(126名)
 - ・篠山市東雲高校(12月8日)(10名)ほか
 - ・アセイア湘南中学校(12月26日)(6名)
 - ・放送大学山形学習センター(9月8日)(23名)
 - ・国際基督教大学の学生と国連ユニタール広島(10月20日)(約20名)
 - ・国連ユニタール「津波防災研修女性のリーダーシップ」研修(11月1日)(約40名)
 - ・小林製薬(3月16日)(2名)ほか



ビーチパークをオープン予定の白浜海水浴場清掃作業をお手伝いしていただきました。(大日本印刷株式会社様)

震災遺構として残ることが決まった大川小学校跡地をご案内しています。
(三越伊勢丹グループ労働組合様による石巻ボランティア活動より)

今期の主要アウトカム

- ・石巻圏域での企業研修やボランティア活動の受け皿として、またボランティアニーズを持つ石巻圏のNPOや市民活動とマッチングできるハブとして実質的に機能している。
- ・復興住宅での清掃活動は、当団体ならではのコーディネートとして高い評価を得ている。
- ・三越伊勢丹グループ労働組合やブルデンシャル生命等のボランティアでは活動にリピーターとして参加してくださる方がいる。また、その方たちが他の社員の方に参加を勧めるという循環ができている。
- ・資料やファイルを整理し、マニュアル化・共有化を図ることで特定のスタッフ以外も視察案内や当日の業務サポートができるようになった。

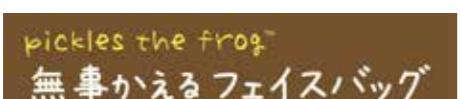


やっべす限定カラー(数量限定)も登場!

事業概要

無事かえるシリーズは、ナカジマコーポレーションの「かえるのピクルス」を防災商品化し、弊団体はその監修を務めています。弊団体では本商品を開発する段階で約100名の方々に被災時に何が必要だったかヒアリングしました。食料、ライフライン面、衛生面、精神面、様々な意見を頂きました。また、私たちも被災者です。当時多くの死亡・行方不明者を出し、津波や倒壊などはもちろん二次被災による死者も多発しました。それらを私たちはどう防ぐことが出来たのか。私たちの経験も反映させながら本当に何が必要だったのかを考察し、防災商品としてナカジマコーポレーションと協働し、展開しています。

今年度は新たに「無事かえるフェイスバッグ」を発売。通常版に加え、やっべす限定カラーを展開しました。



第6弾無事かえるフェイスバッグ

今期の成果

- ・無事かえるシリーズ第6弾(無事かえるフェイスバッグ)発売
- ・売上:¥237,036(前年度比売上50.4%向上)

今期の主要アウトカム

ECサイト販売による県外購入者に加えて、石巻市内においても購入が見られた。これは防災意識が地域にも届き始めていることがみられた。また、外国人にも購入いただき、震災の経験を防災に活かすことが、国境を越えはじめる。

大人も子どもも身につけやすく、かわいいデザインです。

会計報告

活動計算書

【税込】(単位:円)
自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク	
【収益】	
正会員受取会費	160,000
【受取寄付金】	
受取寄付金	7,433,410
【受取助成金等】	
受取助成金	10,961,824
受取補助金	2,024,852
【事業収益】	12,986,676
事業収益	
事業収益(広告)	17,206,088
委託料収入	1,786,500
【その他収益】	19,151,957
受取利息	38,144,545
雜 収 益	
経常収益 計	52
	2,143,851
	2,143,903
	60,868,534
【経常費用】	
【事業費用】	
人件費	17,368,450
給料 手当(事業)	851,780
臨時雇給手(事業)	25,000
教育研修料(事業)	18,245,230
人件費計	
(その他経費)	
差上 原価	753,462
業務委託費(事業)	971,387
請 請 金	72,978
印刷製本費(事業)	1,097,223
接待交際費(事業)	265,744
会 議 費(事業)	588
広告宣伝費(事業)	1,541,674
旅費交通費(事業)	3,005,788
車両燃費(事業)	332,950
車 内 費(事業)	228,499
荷造包装費(事業)	5,904
通信費(事業)	916,371
荷造 運賃(事業)	92,089
事務消耗料費(事業)	1,178,736
販売促進費(事業)	205,200
修 繕 費(事業)	474,000
備品消耗料費(事業)	1,296,305
水道光熱費(事業)	254,842
新聞団書費(事業)	84,708
地代・家賃(事業)	1,996,981
賃 借(事業)	46,280
保 険 料(事業)	394,518
諸 会 費(事業)	357,000
租税 公課(事業)	63,170
リース料(事業)	50,000
支払手数料(事業)	180,971
販売手数料(事業)	2,000
施設使用料(事業)	190,505
飲食費(事業)	1,151,328
食材費(事業)	329,854
企画諸経費(事業)	449,280
諸謝金(事業)	7,630,198
内職手数料(事業)	31,280
雜 費(事業)	388,588
その他の経費計	
事業費 計	26,040,401
	44,285,631

特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク
全事業所

【税込】(単位:円)
平成30年 3月31日 現在

《資産の部》

流動資産	
現 金	420,982
事務所	(405,982)
コワーキング	(15,000)
カフェレジ現金	10,000
普通 預金	5,508,758
七十七銀行 法人	(6,172,916)
ゆうちょ	(132,585)
石巻信用金庫	(12,063)
七十七 JKA	(7,971)
ゆうちょ銀行会員向け	(67,539)
ゆうちょ銀行 石巻	(64,088)
石巻信用金庫(紳)	(10,898)
現金・預金 計	(40,698)
棚卸資産	6,939,740
商品	1,388,779
棚卸資産 計	1,388,779
(その他流動資産)	
前払 費用	139,000
立 替 金	292,976
未収入金	12,887,568
その他流動資産 計	13,319,544
流動資産合計	21,648,063
固定資産	
(有形固定資産)	
建物付属	720,288
什器 備品	63,947
有形固定資産 計	784,235
(投資その他の資産)	
整 金	464,000
保険積立金	810,160
投資その他の資産 計	1,274,160
固定資産合計	2,058,395
《負債の部》	
未 払 金	5,481,434
前 受 金	490,000
短 期 借 入 金	1,201,800
預 り 金	1,741,114
雇用保険個人負担分	(406,849)
社会保険個人負担分	(797,179)
所得税源泉徴収	(105,815)
内職賃預り他	(△ 254,881)
住民税	(74,022)
その他	(612,130)
未払法人税等	72,000
未払消費税等	478,600
流动負債合計	
負債合計	9,464,948
正味財産	
	14,241,510

23,706,458

特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク
全事業所

【税込】(単位:円)
平成30年 3月31日 現在

《資産の部》

資産の部	
科 目	金 額
【流動資産】	
(現金・預金)	
現 金	420,982
カフェレジ現金	(405,982)
普通 預金	(15,000)
七十七銀行 法人	(6,172,916)
ゆうちょ	(132,585)
石巻信用金庫	(12,063)
七十七 JKA	(7,971)
ゆうちょ銀行会員向け	(67,539)
ゆうちょ銀行 石巻	(64,088)
石巻信用金庫(紳)	(10,898)
現金・預金 計	(40,698)
棚卸資産	6,939,740
商品	1,388,779
棚卸資産 計	1,388,779
(その他流動資産)	
前払 費用	139,000
立 替 金	292,976
未収入金	12,887,568
その他流動資産 計	13,319,544
流動資産合計	21,648,063
固定資産	
(有形固定資産)	
建物付属	720,288
什器 備品	63,947
有形固定資産 計	784,235
(投資その他の資産)	
整 金	464,000
保険積立金	810,160
投資その他の資産 計	1,274,160
固定資産合計	2,058,395
負債・正味財産の部	
負債科 目	金 額
【流动負債】	
(未 払 金)	5,481,434
前 受 金	490,000
短 期 借 入 金	1,201,800
預 り 金	1,741,114
雇用保険個人負担分	(406,849)
社会保険個人負担分	(797,179)
所得税源泉徴収	(105,815)
内職賃預り他	(△ 254,881)
住民税	(74,022)
その他	(612,130)
未払法人税等	72,000
未払消費税等	478,600
流动負債合計	9,464,948
正味財産合計	
正味財産の部	9,464,948
前 期 檻 越 正味財産	11,745,689
当 期 正味財產増減額	2,495,821
正味財産合計	14,241,510

23,706,458



今期の成果

- ・無事かえるシリーズ第6弾(無事かえるフェイスバッグ)発売
- ・売上:¥237,036(前年度比売上50.4%向上)

今期の主要アウトカム

ECサイト販売による県外購入者に加えて、石巻市内においても購入が見られた。これは防災意識が地域にも届き始めていることがみられた。また、外国人にも購入いただき、震災の経験を防災に活かすことが、国境を越えはじめる。

大人も子どもも身につけやすく、かわいいデザインです。

ご支援・ご協力頂いた企業、団体の皆様 (順不同)

(石巻の企業やNPO等は数が多いので、ここでは外部の方々を中心に一部を紹介します)

民間企業

- ・(株) KDDI ウェブコミュニケーションズ
- ・(株) イオンフォレストザ・ボディショップ
- ・(株) イストワール
- ・(株) 日本政策金融公庫
- ・(株) 日本政策投資銀行
- ・(株) 日清製粉グループ本社
- ・(株) 富士通エフサス
- ・(株) ナカジマコーポレーション
- ・(株) ドリーム・ぽけっと
- ・(株) アシヤノーベルズ
- ・(株) エムスノージャパン
- ・日本ロレアル（株）
- ・日本アイ・ビー・エム（株）
- ・積水ハウス（株）
- ・大日本印刷（株）
- ・NTN（株）
- ・プレデンシャル生命保険（株）
- ・石巻信用金庫
- ・三越伊勢丹グループ労働組合
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン
日本法人グループ
- ・服部制作室
- ・日野税理士事務所
- ・東洋ネクスト（株）

民間団体

- ・フィッシュ・ファミリー財団
- ・JWLI
- ・IIHOE
- ・(公財) パブリックリソース財団

- ・(一社) MDRT 日本会
- ・(一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会
- ・(特活) 子ども家庭リソースセンター
- ・(特活) サービスグランツ
- ・(公財) 仙台市健康福祉事業団
- ・(一財) ダイバーシティ研究所
- ・(特活) 日本NPOセンター
- ・(公財) 日本財団
- ・(特活) 日本トルコ文化交流協会
- ・(公社) 日本フィランソロピー協会
- ・(一社) 兵庫県音楽療法士会
- ・(特活) ブレーンヒューマニティー
- ・(一社) まちとアート研究所
- ・(一社) みやぎ連携復興センター
- ・(特活) 杜の伝言板ゆるる
- ・(一社) 雄勝花物語
- ・パセリくらぶ
- ・法然院

教育機関

- ・兵庫県立篠山東雲高等学校
- ・岩手県立花泉高等学校
- ・アレセイア湘南中学校／高等学校
- ・中央大学
- ・国際基督教大学
- ・同志社女子大学
- ・国連ユニタール広島事務所

やっぺす新拠点整備における クラウドファンディング支援者名

赤澤清孝、石田裕之、山田泰久、石塚幸夫、大澤香織、当新直子、伊藤佐和、NPO 法人エンツリー、株式会社ソウルスウェットカンパニー代表取締役 仲光和之、森章浩、能島裕介、加藤秀俊、高橋朗、柿本可奈子、中野みさき、中村順子、上神田正利、飯岡忠昭、梶屋知恵、中島節子、小林紀子、野々村美代子、厨勝義、藤田とし子、桑原香苗、株式会社服部制作室代表取締役 服部雄樹、サポートアズカレッジマーケティング・ディレクター 柳澤千恵子、感環自然村、石塚直樹、布田剛、SHIGEKO MIYACHI、平野覚治、岸田繁、棟朝千帆、川中大輔（シチズンシップ共育企画代表）、日本財団コミュニケーション部 橋本朋幸、フラ講師 雁部かなえ、一般社団法人 rennsa 代表理事 東陽子、一般社団法人りんらす、阿部由希、松山亜紀、鈴木弘之、花島紀秀、高橋洋祐・智恵、雑賀郁江、本多彰浩、石山由美子、中島るみ子、早坂智明、アゴながおじさん、辻信一、武中桂、堀内良範、Mizue Aya、田中雅子、杉林俊枝、木村和枝、水島壽人、西館和哉、日野税理士事務所、井上雪子、金子真理子、中川政治、松原永季、JWLI

石巻復興支援ネットワーク ご支援のお願い

詳細に関してはお問い合わせください。
資料をお送り致します。
また、ホームページで随時情報を発信していますので、ぜひご覧ください。
<http://yappesu.jp/>



活動資金を ご支援ください。

月々500円からのマンスリーサポーターを募集しています。
お申込は、ホームページ、もしくは、直接お問い合わせください。
また、ご寄付も隨時受け付けています。



買って石巻を 応援してください。

石巻のハンドメイドアクセサリーや防災リュック、
CDを購入して、復興を応援してください。
収益は、石巻の復興の為に使用させていただきます。

「ママ」と「社会」をつなぐ
ハンドメイドアクセサリー Amanecer



<http://amanecer.ocnk.net/>

ふんわり軽いコットンパールシリーズが大人気。
石巻のママたちがひとつひとつ想いを込めて製作しています。



知って広める。



メールマガジンやフェイスブック、ツイッター等で
情報発信をしています。
ぜひ知って広めてください。講演も全国各地で行っていますので、ご依頼をお待ちしています。



法人の方向けに。

当団体では、様々な企業様と協働事業を行っています。
CSR活動、研修、視察、被災地における支援活動のコーディネート等を行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

tel:022-23-8588
e-Fax:022-774-1469
info@yappesu.jp



震災の教訓から次の災害に備えるため誕生した親子向けの防災リュックとポシェットです。



このほか、シンガーソングライター
石田裕之さんとのコラボ CD「やっぺす♡石巻」も販売しています。